＜プレスリリース　カテゴリー：新サービス発表＞

2024 年 5 月 29 日

報道関係者各位

アイビーシー株式会社

ネットワーク/システム運用の DX を促進する「性能評価レポート」サービス

-IBCの 21 年間のノウハウに基づく評価基準でランクを自動判定-

アイビーシー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：加藤 裕之、以下 IBC）は、IBC が開発・販売するシステム情報管理ソフトウェア「 System Answer G3 」（以下 G3）のデータを用いて性能評価ランクを付与した**「性能評価レポート」**サービスを、2024 年 6 月 12 日より提供開始いたしますのでお知らせいたします。本サービスは、同日リリース予定の G3 新バージョン Ver.03.30-01 よりご利用いただけます。

2030 年には日本の IT 人材は約 80 万人も不足すると言われ、昨年の平均有効求人倍率 1.3 倍に対し、IT 技術専門職種は 3.8 倍であり、いま現在も深刻な人材不足に陥っており、多くの企業がこの課題に直面しています。さらに、コロナ禍で企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）戦略が加速、教育現場でも GIGA スクール構想実現のため教育の DX 化が推進され、IT 人材への需要は高まり続けています。こうした背景からデジタル庁が創設され、社会全体で求められる専門的な IT 人材の育成と確保が進められていますが、現在進行形で IT 人材不足に悩む企業の情報システム部門などでは、能力の高い少数の人材に負荷が集中し、解決策の糸口が見えないまま、現場が疲弊し続けているのが現状です。

このたび、IBC が新たにリリースした**「性能評価レポート」**は、IT 人材不足という課題に対し、専門知識不要で、システムの問題を判断できる能力を提供することができるサービスです。本サービスは、IBC が 2002 年の創業以来 21 年間培ってきた性能監視によるノウハウを詰め込んだ IBC 独自の性能評価基準（図 1）により、監視データをアップロードするだけで、監視項目単位に使用率やエラーパケット数等に応じて A～D ランクで評価を行い、その結果をレポート（図 2）として出力できるサービスです。

◆A～D評価基準

ランク名	説明
Aランク	正常の範囲内 現在のところ対応や改善措置を必要としません
Bランク	経過観察を推奨 問題が進行する可能性があるため、経過観察を推奨します。
Cランク	システムの最適化が必要 対象の状態はまだ深刻な問題を引き起こしていないが、性能の最適化を行うことで将来的な問題の発生を防ぐことができます
Dランク	即座に対処が必要 直ちに対応を取らなければ、IT障害を引き起こす可能性があります

【図 1：IBC 独自の評価基準】

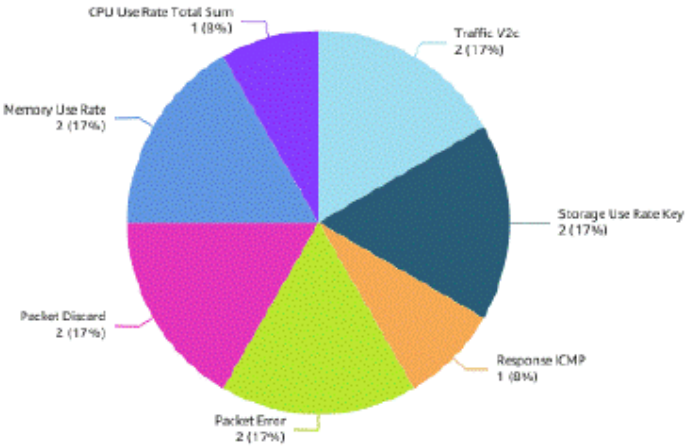
IBC

◆新規Dランクの監視項目別改善案

本トピックでは今回の監視データでDランクと判定された監視項目の影響と改善案を記載しております。
下記で記載のある監視項目は今回で初めてDランクと判定されていますので、早急に対処することでIT障害の発生を防ぐことができます。

○監視項目別新規Dランク割合と数

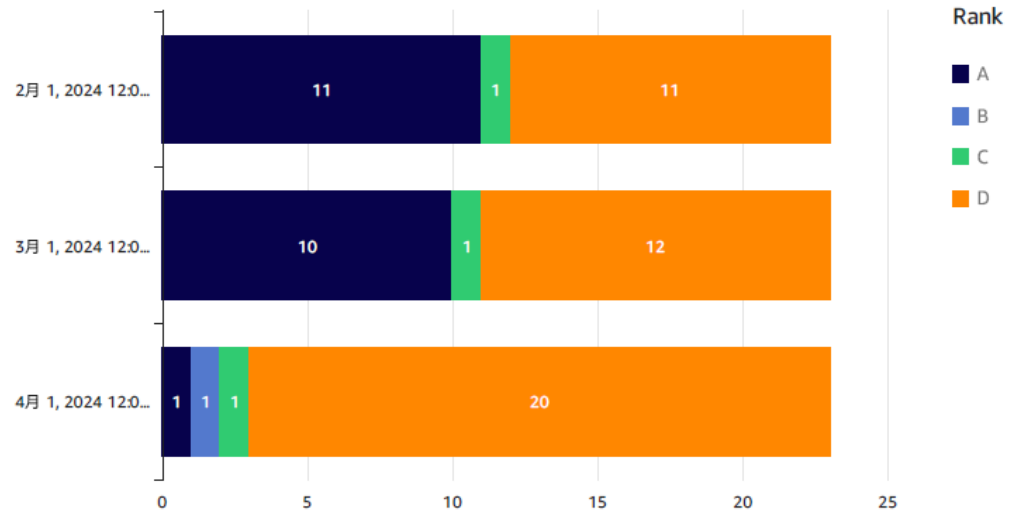
新規でDランクとなった監視項目毎に割合と数を算出しております。



◆継続してDランク判定を記録した監視項目について

本トピックでは今回の監視データがDランクである監視項目が前回もDランク判定となっていた場合についてまとめています。

〇直近3ヵ月における各ランクの推移



・トラフィック使用率Dランクノードと稼働改善案

下記表は今回のDランクのノード一覧となります。
Dランクによる影響と改善案は以下となります。
影響：通信が不安定になる、もしくは通信遅延が発生する可能性があります。
改善案：多くトラフィックが流れている機器の調査を行い、トラフィック流量の調整が有効です。
またリンクアグリケーションや、回線の見直しを実施することで帯域を広げることができます。
上記で改善がなされない場合、対象機器のリプレイスを推奨します。

対象ノード(in)

ノード名	タイトル名	帯域幅	単位	使用率
IBC_shinki	Eth0	1	GB	90%

【図２：レポートイメージ】

「性能評価レポート」では、分析等の特別なスキルや IT に精通した知識がなくとも、レポートを見るだけで、いま問題があるのか無いのかを A～D ランクの指標により一目で確認することができます。監視項目毎に判定を行うことにより、システムに問題がある場合などは、その問題の継続性有無を一元的に把握することができ、D ランクになってしまった場合には、システムに与える影響とネットワークに加えサーバの改善策が提供されます。

単純なグラフレポートではなく、数値的根拠から分析した結果に応じた診断結果が提示されるため、信頼度も高く、定常的にリスクの高いものから、リスクレベルが上昇しつつある機器の判別まで可能です。

本サービスは、共通指標で分析結果が出ることにより、情報システム部門だけでなく、経営層も同じ基準でその性能を評価することで、組織としてシステムの性能を把握し、「IT 障害をゼロにする」ための組織的環境作りにも貢献します。
誰でも簡単に性能評価ができることから、情報システム部門担当者の業務負荷軽減となるだけでなく、問題の切り分けスキルが弱い方でも切り分け判断ができることから、IT 人材不足に悩む企業の大きな解決策の一つとなると考えます。

- 提供形態：System Answer G3 v03.30-01 より利用可能
- 提供価格：初期費用：125,000 円（税抜き） ・ 月額：90,000 円（税抜き）～

＜企業情報＞

【アイビーシーについて】
IBC は、2002 年の設立以来、性能監視分野に特化した事業を展開しており、IT システムの稼働状況や障害発生の予兆などを把握する IT システム性能監視ツールの開発・販売およびコンサルティングを手掛けています。

社　　名：アイビーシー株式会社
本　　社：〒104-0033　東京都中央区新川 1 丁目 8 番 8 号 アクロス新川ビル 8F
代 表 者：代表取締役社長　加藤 裕之
設　　立：2002 年 10 月
事業内容：IT システム性能監視ツールの開発/販売/サポート
　　IT システムの性能評価サービス
　　IT システムの設計・構築、コンサルティング
　　IoT セキュリティ基盤サービスの開発/提供
　　各種機器、ソフト販売

＜本件に関するお問い合わせ＞
■アイビーシー株式会社
電話　：03-5117-2780
E-mail：info@ibc21.co.jp

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。